

**製品名: エフリン B2 (5U5) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe10532**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000, ICC/IF 1:100-1:200
分子量	37kDa

**抗原情報**

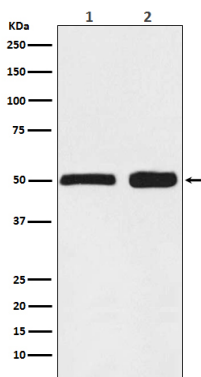
遺伝子名	EFNB2
別名	Efnb2; ephrin B2; EPLG5; Htk L; HTK ligand; HTK-L; HTKL; LERK5;
遺伝子 ID	1948.0
SwissProt ID	P52799
免疫原	ヒトエフリン B2 の合成ペプチド

**背景**

神経細胞、血管および上皮細胞の発達中の遊走、反発および接着に極めて重要な受容体チロシンキナーゼのファミリーである Eph 受容体の細胞表面膜貫通りガンド。隣接細胞に存在する Eph 受容体に無差別に結合し、隣接細胞への接触依存性の双方向シグナル伝達を引き起こします。神経細胞、血管および上皮細胞の発達中の遊走、反発および接着に極めて重要な受容体チロシンキナーゼのファミリーである Eph 受容体の細胞表面膜貫通りガンド。隣接細胞に存在する Eph 受容体に無差別に結合し、隣接細胞への接触依存性の双方向シグナル伝達を引き起こします。受容体の下流のシグナル伝達経路は順方向シグナル伝達と呼ばれ、エフリンリガンドの下流のシグナル伝達経路は逆方向シグナル伝達と呼ばれます。EPHA4、EPHA3、EPHB4 などの受容体チロシンキナーゼに結合します。EPHB4 と共に、細胞接着と細胞遊走の制御を通じて心臓の形態形成と血管新生において中心的な役割を果たします。EPHB4 を介した順方向シグナル伝達は、EFNB2 発現細胞からの細胞反発と分離を制御します。縦方向に投射する軸索の方向を制限する役割を果たす可能性があります。

## 研究分野

## 画像データ



(1) HEK293 細胞溶解物、(2) マウス脾臓溶解物におけるエフリン B2 発現のウエスタンブロット解析。